

# 2

## オウム病

### Q.1 オウム病とは どのような病気ですか。

- セキセイインコ、オウム、ハトなどの鳥類の糞に含まれる病原体を吸い込んだり、口移しで餌を与えたりすることにより感染します。  
38度以上の突然の発熱、せき、全身のだるさ、筋肉痛、関節痛、頭痛といった、インフルエンザのような症状を来します。
- 早期に適切な治療を受ければ回復しますが、重症になると肺炎や髄膜炎を起こすこともあります。
- なお、この病気は、人から人への感染はまれです。

### Q.2 オウム病にかからないために どうすればよいのですか。

- 鳥を飼うときは、鳥かごに羽根や糞が残らないように常に飼育環境を清潔にしましょう。
- 鳥の世話をしたあとは、手洗い、うがいをしましょう。
- 口移しで餌を与えないなど、節度ある動物との接し方をしましょう。
- 信頼のおけるペットショップで健康な鳥を購入しましょう。
- 飼育している鳥が病気になったときには、動物病院に相談しましょう。

### Q.3 オウム病にかかったら どうすればよいのですか。

- 早期に適切な抗生物質を服用することにより回復しますので、鳥を飼育している人が重い  
かぜの症状を感じたら、医療機関を受診し、鳥を飼育していることを医師に伝えてください。